

決済動向

— 平成6年12月 —

(平成7年2月15日)

1. 日本銀行における決済関連計数

12月の日銀当座預金受払（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースでは3.1万件（前年比+0.5%）、金額ベースでは318.0兆円（同△5.1%）となった（6年1月17日の内国為替制度改正以前のベースで試算した金額の前年比は△0.3%）。金額の内訳をみると、当座預金振替等は297.1兆円（前年比+0.1%）、民間の集中決済制度に係る資金決済は13.7兆円（同△55.5%）となった（従来のベースで試算した民間の集中決済制度に係る資金決済は前年比△3.6%）。

12月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで3.9万件（前年比+6.3%）、金額ベースで98.7兆円（同△16.4%）となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替（片道ベース、月中合計）は、件数ベースで3.4万件（前年比△0.5%）、金額ベースで155.2兆円（同△19.5%）となった。

12月の国庫金取扱高（受払合計、1営業日平均）は、件数ベースで143.9万件（前年比+5.7%）、金額ベースで6.3兆円（同+4.2%）となった。

12月の日本銀行における銀行券受払高（月中合計）は受入高7.5兆円（前年比△1.6%）、支払高14.1兆円（同△1.5%）となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、12月の手形交換高（東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均）は、枚数ベースでは47.7万枚（前年比△4.7%）、金額ベースでは5.4兆円（同△51.5%）となった。

12月の全銀システム取扱高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは431.0万件（前年比+5.0%）、金額ベースでは8.6兆円（同+4.4%）となった。

12月の外為円決済交換高（片道ベース、1営業日平均）は、件数ベースでは2.7万件（前年比+13.0%）、金額ベースでは28.3兆円（同+12.5%）となった。

3. その他

12月の東京金融先物市場の取引数量（円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均）は14.3万契約（前年比+22.7%）、月末の建玉数量は112.7万契約（同+12.1%）となった。

11月、12月のSWIFT総送信件数（本邦分、月中合計）はそれぞれ187.5万件（前年比+14.6%）、193.3万件（同+10.6%）となった。

(信用機構局)